

◆2024年7月の新刊

日本キリスト教団出版局

牧師・幼稚園園長の著者が日常における気づきを紡ぐエッセー集

たからさがし

神さまからの不思議なおくりもの

もちづきあさを
望月麻生 著

1983年、静岡市生まれ。同志社大学神学部・神学研究科で学ぶ。日本基督教団国分寺教会、四街道教会牧師を経て、現在、足利教会牧師・足利みどり幼稚園園長。絵を描いたりピアノを弾いたりするのが好き。消しゴムはんこ作家「夜ふかし堂」として

製作活動やワークショップもおこなう。監修・共著に『保育者の祈り こどものために、こどもとともに』（日本キリスト教団出版局）。

たからのありかは、極めてありふれた日常に。『信徒の友』の「みことばにきく」などの連載記事16本を大幅に加筆修正し、書き下ろし8本を加えた気づきと癒やしの珠玉エッセー集。安らぎと希望にあふれた本書は、お見舞いや訪問時のプレゼントにも最適。

四六判・並製・120頁・定価1,540円（本体1,400円+税）

ISBN978-4-8184-1163-0 C0095

目次	第1章 はるのあした ～痛みという名の扉～ 赤い鍋/タケノコ/茨の冠/丁寧/イースターエッグ/花束
	第2章 なつのまひる ～悩みという名の鍵～ 歌/羊/塩/おもてなし/一服/蛇

第3章 あきのゆうべ ～迷いという名の道～ ピアノ/電車/どんぐり/閉店/やきとり/明日
第4章 ふゆの夜 ～憂いという名の窓～ みかん/のりまき/免許/鶏頭果/忘れ物/家族

